

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

Hokkaido Research Center of Geology

2016 年度年報

(2016 年 10 月 1 日-2017 年 9 月 30 日)

目次

- I. 特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センターに関する情報
- II. 2016 年度 活動・事業
- III. 2016 年度 会計
- IV. 2016 年度 会員による研究発表など



2018 年（平成 30 年）5 月 1 日発行  
特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

## 1. 特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センターに関する情報

### 1. 目的

本法人は、地質学に関する研究・教育・実務などの高度な創造的活動を行なおうとする者のために必要な環境を用意し、その支援を行うとともに成果の普及活動を行い、それによって純粋地質学から自然防災を含む応用的地質学など幅広い範囲におよぶ「総合地質学」の研究の推進、およびそれに基づく社会的貢献、特に一般市民の地質学に関する基礎知識の増進に貢献することを目的とする。

### 2. 役員（2017年9月30日現在）

理事長：前田 仁一郎

副理事長：嵯峨山 積

理事：石崎 俊一，岡 孝雄，君波 和雄，嵯峨山 積，関根 達夫，中川 充，前田 仁一郎，松田 義章，宮下 純夫，山岸 宏光

監事：在田 一則，宮坂 省吾

### 3. 会員数（2017年9月30日現在）

16名. 内訳：正会員 14名，一般会員 1名，院生・学生会員 1名，賛助会員 0名

### 4. 所在地・電子メール・ホームページ

〒063-0002 北海道札幌市西区山の手2条3丁目5番24号

office@hrcg.jp

<http://www.hrcg.jp/>

### 5. 定款・設立趣旨書などの文書

定款：[http://hrcg.jp/documents/Teikan\\_20171001.pdf](http://hrcg.jp/documents/Teikan_20171001.pdf)

設立趣旨書：<http://hrcg.jp/documents/Shushi.pdf>

プライバシーポリシー：[http://hrcg.jp/documents/privacy\\_161116.pdf](http://hrcg.jp/documents/privacy_161116.pdf)

会員の行動と知的所有権に関する基本的な考え方：[http://hrcg.jp/documents/Chiteki\\_161116.pdf](http://hrcg.jp/documents/Chiteki_161116.pdf)

## II. 2016 年度 活動・事業

- 2016/10/02: 2015 年度通常総会, かでる 2・7 760 会議室, 13:00-16:00, 出席者: 在田一則, 石崎俊一, 加藤孝幸, 前田仁一郎, 松田義章, 中川 充, 岡 孝雄, 嵯峨山 積, 関根達夫. 委任状提出者(宮坂省吾, 山岸宏光)ならびに後日欠席者(合地信生, 君波和雄, 宮下純夫)からも電子メールにおいて承認された. 議長は松田義章, 議事録署名人は関根達夫, 石崎俊一.
- 2016/10/08: 最終間氷期研究会と巡検の共催.
- 2016/11/11: 幹事会開催.
- 2016/11/11: ホーム頁を非公開試行版としてサーバー上で運用開始.
- 2016/11/16: 「プライバシーポリシー」を制定.
- 2016/11/16: 「収益を伴う事業に関する基本的な考え方」を制定.
- 2016/11/16: 「会員の行動と知的所有権に関する基本的な考え方」を制定.
- 2016/11/25: 札幌市に役員変更届(理事の追加)を提出.
- 2016/12/15: 札幌市に 2015 年度事業報告完了.
- 2016/12/16: 「総合地質」誌の編集委員会発足. 君波和雄(代表), 松田義章, 宮下純夫, 岡 孝雄.
- 2017/01/04: 札幌市に平成 29 年度償却資産申告書(償却資産課税台帳)提出.
- 2017/01/14: 公式ホームページ (<http://www.hrcg.jp>) の公開を開始.
- 2017/03/03: 第 3 回研究セミナー開催. 合地信生: 考古学と岩石学の接点 & ブラタモリ知床. かでる 2・7 620 号室, 13:00-14:30, 22 名参加, 内会員外 10 名.
- 2017/03/03: HRCG 会議. 議題: 4 月以降の活動の本格化についての議論. かでる 2・7 620 号室, 14:40-16:00. 出席者: 合地信生, 関根達夫, 宮坂省吾, 加藤孝幸, 山岸宏光, 前田仁一郎, 中川 充, 嵯峨山 積, 田近 淳, 石崎俊一, 松田義章, 在田一則. 会議終了後に懇親会開催.
- 2017/03/24: 幹事会開催.
- 2017/04/14: 平成 29 年度道民税均等割(20,000 円)申告書・平成 29 年度法人市民税均等割(50,000 円)申告書提出. とともに 100% 減免の申請を行い, 承認された.
- 2017/04/20: 幹事会開催.
- 2017/04/21: 特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター 2015 年度年報(2015 年 8 月 25 日から 2016 年 9 月 30 日: 2017 年 3 月発刊)を公表.
- 2017/05/07: 第 4 回研究セミナー開催. 石崎俊一: Madagascar 南部の地質と鉱物資源. かでる 2・7 750 号室, 13:00-14:30, 11 名参加, 内会員外 2 名. なお, 理事長が研究セミナー参加者向けの北海道総合地質学研究センターの紹介スライドを作成し, 講演開始前に説明を行った.
- 2017/05/07: 理事会(拡大理事会)開催. 出席者: 前田仁一郎, 嵯峨山 積, 関根達夫, 岡 孝雄, 石崎俊一, 加藤孝幸, 松田義章, 宮坂省吾, 中川 充. 電子メールによって参加した者: 山岸宏光, 君波和雄,

在田一則. 理事会において「総合地質」誌の投稿・編集・出版規則が承認された. この規則は内規と同様に取扱われる. なお, 後日微修正を行い, 最新版は「総合地質規則\_170611」である. 終了後に懇親会開催.

2017/05/28: 第5回研究セミナー開催. Part 1: 学会発表事前紹介, 発表件数 8, Part 2: 特別講演 中西 諒: 北海道胆振海岸西部における17世紀津波堆積物の対比とその特徴. ちえりあ サークル活動室 1, 13:00-17:00, 9名参加. 終了後に懇親会開催.

2017/06/23: 北海道教育委員会主催 道民カレッジ連携講座団体登録と講座開設の申込みを行った.

2017/07/05: 道民カレッジ連携講座開設団体の承認を受けるとともに, 平成 29 年度後期道民カレッジ連携講座「札幌の失われた川を歩く」(講師: 宮坂省吾, 開催日: 10/13, 10/14)の実施が決まった.

2017/07/28: 幹事会開催.

2017/09/22: 北大総合博物館内において, 正・副理事長ならびに幹事 岡 孝雄の出席のもと, 監事 在田一則, 宮坂省吾による監査が行なわれた.

### III. 2016 年度 会計

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター  
2016年度決算

2016年10月1日～2017年9月30日（単位：円）

収入				
科目	予算	決算	差額	備考
繰越金	409,481	409,481	0	
会費	83,000	85,000	△ 2,000	6,000円×13名, 5,000円×1名, 1,000円×1名×2年分
寄付金	27,500	1,179	26,321	懇親会残金
その他	0	3	△ 3	預金利息
収入合計	519,981	495,663	24,318	

  

支出				
科目	予算	決算	差額	備考
消耗品費	40,000	17,521	22,479	ハードディスク購入, チラシ印刷
通信運搬費	30,000	16,027	13,973	サーバーレンタル 12,960円, ドメイン更新 3,067円
会議費	40,000	14,880	25,120	かでの2・7, ちえりあ, クリスマスセンター
予備費	409,981	216	409,765	振込手数料
支出合計	519,981	48,644	471,337	

  

収支差額				
科目	予算	決算	差額	備考
収支差額	0	447,019	△ 447,019	

#### IV. 2016 年度 会員による研究発表など

##### 1. 学術論文など(査読有)

- Dou, J., Yamagishi, H., Xu, Y., Zhu, Z. and Yunus, A.P., 2017, Characteristics of the Torrential Rainfall-Induced Shallow Landslides by Typhoon Bilis, in July 2006, Using Remote Sensing and GIS. *In* Hiromitsu Yamagishi and Netra Prakash Bahndary (eds.), *GIS Landslide*, Springer, 221–230.
- Garcia-Urquia, E. and Yamagishi, H., 2017, Landslide Susceptibility Mapping Based on Aerial Photograph Interpretation Inventory for Tegucigalpa, Honduras: An Application of the Matrix Method. *In* Hiromitsu Yamagishi and Netra Prakash Bahndary (eds.), *GIS Landslide*, Springer, 163–181.
- 廣田清治・山岸宏光・八木浩司・桑野 健, 2017, 地すべりハザードマッピングシステム開発に係る技術支援 -ホンジュラス国テグシガルパにおける JICA プロジェクトの事例. 地すべり学会誌, **54**, 146–151.
- Iwahashi, J. and Yamagishi, H., 2017, Spatial Comparison of Two High-resolution Landslide Inventory Maps Using GIS—A Case Study of the August 1961 and July 2004 Landslides Caused by Heavy Rainfalls in the Izumozaki Area, Niigata Prefecture, Japan. *In* Hiromitsu Yamagishi and Netra Prakash Bahndary (eds.), *GIS Landslide*, Springer, 13–29.
- 加瀬善洋・仁科健二・川上源太郎・林 圭一・高清水康博・廣瀬 亘・嵯峨山 積・高橋 良・渡邊達也・輿水健一・田近 淳・大津 直・ト部厚志・岡崎紀俊・深見浩司・石丸 聡, 2016, 北海道南西部奥尻島で発見された津波堆積物. 地質学雑誌, **122**, 587–602.
- Kiminami, K., Imaoka, T., Ogura, K., Kawabata, H., Ishizuka, H. and Mori, Y., 2017, Tectonic implications of Early Miocene OIB magmatism in a near-trench setting: The Outer Zone of SW Japan and the northernmost Ryukyu Islands. *Journal of Asian Earth Science*, **135**, 291–302.
- Kusano, Y., Umino, S., Shinjo, R., Ikei, A., Adachi, Y., Miyashita, S. and Arai, S., 2017, Contribution of slab-derived fluid and sedimentary melt in the incipient arc magmas with development of the paleo-arc in the Oman Ophiolite. *Chemical Geology*, **449**, 206–225.
- 大村亜希子・池原 研・片山 肇・入野智久・嵯峨山 積, 2017, 有機炭素分析による洪水堆積物の特徴—2003 年台風 10 号, 北海道日高沖陸棚の例—. 地質学雑誌, **123**, 321–333.
- 太田勝一・嵯峨山 積・乾 哲也・保柳康一, 2017, 2011 年東北地方太平洋沖地震津波の北海道厚真川における遡上現象と津波堆積物. 地質学雑誌, **123**, 551–566.
- 嵯峨山 積・井島行夫・藤原与志樹・岡村 聡・山田悟郎・宿田浩司・赤松周平, 2017, 北海道石狩平野の沖積層の基底と MIS 5e 期堆積物の堆積面. 地球科学, **71**, 43–61.
- Yamagishi, H., 2017, Identification and Mapping of Landslides In Hiromitsu Yamagishi and Netra Prakash Bahndary (eds.), *GIS Landslide*, Springer, 3–9.

## 2. 学術論文など(査読無)

岡 孝雄・近藤 務・中村俊夫・安井 賢・星野フサ・米道 博・山崎芳樹・関根達夫・若松幹男・赤松周平・乾 哲也, 2017, 北海道厚真川流域の沖積層の堆積相解析・微化石解析・AMS<sup>14</sup>C 年代測定に基づく堆積曲線および相対的海水準曲線の復元. 名古屋大学年代測定研究, **1**, 78–84.

## 3. 学術書籍, 一般書籍・雑誌など

Yamagishi, H. and Netra Prakash Bahndary, N.P. (eds.), 2017, *GIS Landslide*, Springer, 230 p.

## 4. 学術講演・学会発表(口頭・ポスター)など

加藤孝幸・菅原 誠, 2017, 貫入岩・褶曲構造と断層から見た渡島半島と内浦湾, 奥尻海盆の成立-ユーラップジオパーク構想の調査から. 日本地質学会北海道支部平成 29 年度個人講演会講演要旨, 4-5.

加藤孝幸・米島真由子・飯田友章, 2017, 石材供給源推定の試みから見える石質の価値観-黒曜石と珪質頁岩, 蛇紋岩関連土器, および蛇紋岩関連玉類. 第 71 回地学団体研究会総会, 講演要旨, 80 および 35–38.

加藤孝幸・国分英彦, 2017, 北海道における地熱開発のターゲットとしてのフラクチャー. 日本地熱学会平成 29 年学術講演会, 講演要旨, 24.

前田仁一郎・松田岳洋・中田周兵・Keewook Yi, 2017, 中央北海道, 日高火成活動帯に産出する鉄に富む深成岩類の年代論と岩石学. 日本地質学会北海道支部平成 29 年度例会講演, 2017 年 6 月 17 日.

宮下純夫・足立佳子・金子 龍, 2017, 海嶺付近の熱水循環: オマーンオフィオライトにおける緑泥石岩体の研究から. InterRidge-Japan 研究集会 (2017 年 11 月 27–28 日, 東京大学大気海洋研究所) 講演.

宮下純夫・金子 龍・足立佳子, 2017, オマーンオフィオライトからの堇青石一直方(=斜方)輝石岩の発見. 日本地質学会第 124 年学術大会.

中西 諒・北林修一・岡村 聡・嵯峨山 積, 2017, 北海道胆振海岸における 17 世紀津波堆積物の分布と広域対比. 第 71 回地学団体研究会総会, プログラム・講演要旨集, 82.

仁科健二・内田康人・川上源太郎・嵯峨山 積, 2017, 日本海東縁変動帯を波源とする古津波イベントの探索-現行堆積過程と沖積コアとの比較から-. 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部調査研究成果発表会, 地質研究所要旨集, 10.

岡 孝雄, 2017, 厚真川上流厚幌ダム地域付近の地形面区分と諸問題-5万年前以降の環境変動・地殻変動-. 第 130 回最終間氷期勉強会.

岡 孝雄, 2017, 岩内平野の第四紀層概要. 第 132 回最終間氷期勉強会.

岡 孝雄・乾 哲也・奈良智法, 2017, 厚真川上流の地形面区分と5万年前以降の環境変動の解明-厚幌ダム地域の遺跡調査に関連して-. 日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会(物理探査学会共催)平成 29 年度研究発表会講演要旨集.

岡 孝雄・大西 潤, 2017, 然別湖北岸ヤンベツ川沿いの段丘堆積物の泥炭の  $^{14}\text{C}$  年代と上位ローム中に  
検出された御鉢平起 源の降下火山灰について. 日本地質学会北海道支部平成 29 年度個人講演会  
講演要旨集.

嵯峨山 積, 2017, 石狩低地帯北部の低地下の第四系層序－火山灰、珪藻、花粉分析の成果－. 北方島  
文化研究会第 58 回研究会.

嵯峨山 積・近藤玲介・重野聖之・百原 新・富士田裕子, 2017, 珪藻分析による北海道北部猿払村の沖積  
層コアの検討. 第 64 回日本生態学会大会, 自由集会「北海道低地湿原の形成史－猿払川流域湿原  
群を中心とした古環境・植生変遷史」.

嵯峨山 積, 2017, 珪藻群集はどれだけ塩分濃度を反映しているのか: 塩分指数による検討. 日本応用地  
質学会北海道支部・北海道応用地質研究会平成 29 年度研究発表会講演予稿集, 37, 19–22.

嵯峨山 積・近藤玲介・重野聖之・百原 新・富士田裕子・矢野梓水・宮入陽介・横山祐典, 2017, 北海道北  
部猿払村の沖積層コアの珪藻分析と塩分指数の検討. 日本地質学会北海道支部平成 29 年度例会  
講演要旨集, 11–12.

山岸宏光, 2017, 地貌図で何が見えるか –その活用法. 第 8 回 GIS-Landslide 研究集会および第 4 回高  
解像度地形情報シンポジウム, 2017 年 2 月.

山岸宏光・志村一夫・斉藤健一, 2017, デジタル時代のマスマーブメント解析. 日本地球惑星科学連合大  
会講演.

山岸宏光・斉藤健一・三上ゆかり・奥野祐介, 2017, 地貌図 (CBZ) で何がみえるか? ESRI ジャパン 第  
13 回 コミュニティフォーラム講演.

Yamagishi, H., 2017, Comparison between recent deep-sea pillow lavas and ancient analogues. American  
Geophysical Union Chapman Conference, Hobart Tasmania, Australia.

#### 4. 一般講演

前田仁一郎, 2016, ホモ・ヤマルーデンスの科学論・大学論 –山系クラブの副産物的存在意義-. 第 9 回  
北大山岳館講演会, 2016 年 10 月 15 日.

宮坂省吾, 2017, 札幌の失われた川を歩く. HRCG 第 1 回公開講座・北海道教育委員会主催道民カレッジ  
連携講座指定). 2017 年 10 月 13–14 日.

宮坂省吾, 2017, 札幌の失われた川を尋ねて. 札幌下水道河川局事業推進本部河川事業課主催 さっぽ  
ろ川めぐり講座, 2017 年 1 月 23 日.

岡 孝雄, 2017, 然別湖の昔 –地質調査で分かってきたこと. 環境省北海道地方環境事務所・とち鹿追  
ジオパーク推進協議会共催, とち鹿追ジオパーク学会 2017, 第 3 部 十勝・鹿追の成り立ちと今.

#### 5. 巡検・見学会リーダーおよびその他

宮坂省吾・内山幸二・土屋 篁・横山 光・米島真由子, 2017 年春巡検「札幌の失われた川を歩く」. 日本地質学会北海道支部. 2017 年 6 月.

岡 孝雄・石崎俊一・米道 博・乾 哲也・奈良智法, 舞鶴遊水地・厚幌ダム周辺地質見学会「最近の大規模土木工事実施サイトとその周辺の地形・地質条件をさぐるバスの旅ー」. 最終間氷期勉強会・石狩沖積低地研究会主催（北海道総合地質学研究センター・地学団体研究会北海道支部共催, 厚真町教育委員会協力）. 2016 年 10 月 8 日.

Yamagishi, H., Landslide Mapping Using GIS, Unesco\_Enhans\_Project, Cigiden, Santiago Chile. 2017 年 5 月.

山岸宏光・志村一夫・齊藤健一, 地貌図 (CBZ)で 何が見えるか～その活用法～. シン技術コンサル 社内研修, 2017 年 6 月.

山岸宏光, NHK「BS プレミアム ぐっさんのニッポン国道トラック旅:5 号線 函館-札幌の巻」番組作成協力（積丹半島東海岸の地質についての情報提供）. 2017 年 10 月 14 日放映.

山岸宏光, NHK「ブラタモリ室蘭」番組作成協力ならびに出演, 2017 年 7 月. 2017 年 11 月 25 日放映.